

ひたちおおたの 文化

第 23 号

常陸太田市文化団体連合会

発行責任者

会長 黒羽 文 男

事務局

常陸太田市教育委員会

文化課文化振興係



サタデー油絵クラブ



常陸太田ビデオ研究会



常陸太田民謡楽鵬会

加盟団体：93 団体
(令和 3 年 3 月現在)



常陸太田市美術協会



コロナ禍のなか希望を持って

常陸太田市文化団体連合会

会長 黒羽文男

昨年から新型コロナウイルス感染は、今までに経験をしなかったことがたくさん起きています。常陸太田市文化団体連合会でも、総会を始め、様々なイベントが中止となっています。国内でもワクチン接種が二月に始まりましたが、まだまだ予断を許さない状況です。

中止になったイベントの一つに、十月に行われる集中曝涼があります。これをバーチャル曝涼という形で観る試みがあります。市内十二カ所の文化財をビデオで撮影し、YouTubeで紹介するものです。昨年十月から十一月にかけ撮影をしました。撮影してみると、今まで知らなかったお宝がたくさんあることに気が付きました。

その一つを紹介します。金砂の湯の近くにある菊蓮寺には、三メートルを超える千手観音立像と十王図地獄絵があります。十王図地獄絵は、死後の世界には閻魔大王だけでなく、十人の王様がいて、初七日から三周忌までの間、慈悲深く見守ってくれる王様の絵が描かれています。生前の行動に審判を下すのは閻魔大王で、傍らには浄玻璃の鏡が在り、そこに映し出された情報で地獄か天国かを決めるそうです。さて、私は閻魔大王のもとで審判をくだされるなら、天国または地獄のどちらになるでしょうか。これも人生を一生懸命に生きてきたのか、カギとなっていると思います。



いま私たちは、まさに生き地獄です。荒れ狂うコロナ禍の中、様々な制限や感染の恐怖の中で過ごしています。災難はいつ起こるか分かりませんが、人類は其中で立ち上がり困難を克服してきました。そして最先端のバイオテクノロジーはコロナウイルスを解析し、遺伝子操作などでコロナウイルスを撃退できる手法を見つけることができると思っています。

そして、コロナ禍が去ったなら、旅行や外出、そして食事など楽しいことをいっぱい満喫したいと思っています。

加盟団体活動紹介

常陸太田まちかど案内人
の会 二十周年

代表 高橋 能久

当会は平成十二年九月に発足しました。西暦二〇〇〇年であることから、「since 2000」がトレードマークです。そもそもは、まちづくりをテーマに活動していた市民グループ「まいる塾」が、自分の住む街の自然・文化・歴史遺産などを見つめなおし紹介することを目的とする「案内人養成講座」を企画したことがきっかけです。常陸太田市生涯学習センターの協力を得て、一般公募により受講生を募り、講師を招き、現地学習を重ね、受講修了者二十六名により案内人としてスタート。以来関係諸団体、市民の皆様など多くの方々のご支援を戴きながら、昨年で創立二十周年を迎え

ることができました。

栄枯盛衰は世の習い、戦国乱世を四七〇年の長きに亘り五十万石の大名として君臨した佐竹氏の城下町、名君と称えられた光圀公の終の栖処西山御殿のある町、更には江戸時代から物資の集散地、水戸藩北部の中心地として栄え、鯨ヶ丘に今も残る多くの土蔵など、わが郷土の遺産を再び、近隣市町村の方々を始め他県の皆様にも広く紹介し、後世に伝える役目も兼ねて活動をしています。更にいにしえを語るには、市立太田中学校校歌二番に「西の丘べの城跡はかの坂ノ上田村麿 築きて扨

りし城といふ 幾夜と人は変われども 太田の町は千年の 古き歴史を負へる町」と鯨ヶ丘を謳っています。

主な案内活動として、生涯学習センター講座「ふるさと常陸太田の歴史散歩」年四回、桃源の梅まつり、ゴールデンウィーク期間、花菖蒲まつり、紅葉期、及び鯨ヶ丘のひなめぐり他イベント時の協賛案内を年間行事とし、またお客様からの申込による団体、個人の案内を随時行っています。

案内をご希望の際は、常陸太田市観光物産協会にお

申込くださいますと、当会コーディネートとご依頼人様が詳細打合せをすることとなります。案内料は基本無料ですが、旅行業者による手配の場合は有料となります。また外国人観光客の方には、英語での案内ができる会員もおりますので、ご遠慮なくお申し出ください。お待ちしております。



彩友会

代表 沼部 眞一

活動は、毎月第二・第四火曜日の月二回実施しております。

基本は野外で水彩画を描きます。年間計画を作成し、マイカーに分乗して県内や栃木方面で風景を描く日帰りスケッチをしたり、秋には紅葉を求めて一泊の旅にでたりしています。

旅先の風景を水彩絵具で表現し作品にします。宿泊先では、その日に作成された作品の発表会を催し、講師の寸評を受けます。この旅先で描いた作品が彩友会展に出品されます。

また、野外スケッチ以外は、佐竹公民館を利用して活動をしております。現在の会員数は男性九名・女性十一名の合計二十名ですが、市外からの会員もあり、東海村・那珂市・ひたちなか市・福島県塙町の遠方からも参加して、それぞれに水彩画を楽しんでおります。

毎年作品発表会を開催してお

りましたが、新型コロナウイルス感染拡大により昨年春季に開催予定だった第二十三回「小作品展」が開催できず、そして秋季にパルティホールで開催予定だった第二十七回「彩友会展」も開催できませんでした。新型コロナウイルスの影響は長期に及び、令和三年春季開催予定だった「小作品展」も開催できず残念でした。

昨年まで、十年もの長期にわたりご指導頂いた寺門征也講師が退任をし、また、同じく長期にわたり会長職を務めた菊池尚さんが健康に留意し退任いたしました。指導者不在の状態でしたが、ある時一冊の画集『茨城のスケッチ百選』を拝見し感動を覚え、作者は、那



珂市在住の渡辺正則さんです。渡辺さんは常陸太田市出身の元高校教師で、茨城県や東京で開催される展覧会に出品しています。早速、講師をお願いに伺うと、快く了承頂きました。十月に、渡辺講師のもと花貫溪谷の紅葉スケッチに行きました。会員との会話も弾み、紅葉の彩りも素晴らしい中で、渡辺講師が



描く水彩画の素晴らしさに驚嘆しました。

最後に、新型コロナウイルスが終息し普通に活動できる事を祈ります。

また、彩友会では入会希望者を歓迎いたします。ご希望の方は、連絡先 0294・72・6127 沼部までご連絡ください。

金砂郷おむすびの会

代表 井坂 さと美

金砂郷おむすびの会は、平成七年の旧金砂郷公民館の読み聞かせ講座から始まり、平成十年に、読み聞かせボランティアサークルとして活動を開始しました。

主な活動は、定期的に市内の幼稚園・小学校で行っている、朝の読み聞かせや国語授業として学年毎に行うお話会です。お



むすびの会で作った大型布紙、紙芝居などを持参して子供たちと一緒に楽しんでいます。その他に、高齢者福祉施設、敬老会、地区サロン会、子育て支援施設などでのお話会、認知症サポーター養成講座における寸劇など様々な依頼に応えています。会員は十九名、毎週木曜日に交流センターふじで作品の製作や練習をしています。いつも笑い声の絶えないおむすびの会の仲間、ひとりひとりが無理をせず力を出し合い、本と人との出会いを育み、自身も楽しむと

いう思いを大切にしています。令和二年度は残念なことにコロナ禍で学校など施設への訪問がほとんどできませんでしたが、時間にゆとりのあるこの機会に、紙芝居、パネルシアター、ペープサートなどたくさん作品を作りました。活動が再開しましたら、子供たちや地域の皆さんに披露し、楽しんで頂けたらと思っています。

また、おむすびの会ではボランティア活動と並行して、朗読技術のレベルアップを図る為の朗読ワークショップを行っています。水戸

芸術館・劇団ACM所属の塩谷亮さんを講師に迎え一年間レッスンして頂いた後、大人を対象としたお話会「おはなしライブ」を開催しています。



す。令和三年五月に開催予定です。興味のある方は、ぜひお越しください。

新しい仲間も募集中です。本の好きな方、絵を書いたり物づくりの得意な方、朗読をやってみたい方、ご一緒にいかがでしょうか。

常陸太田一歩会

代表 後藤 昇

「『歩く会』ですか?」と言われたことがあります。将棋の会です。「いっふかい」といいます。一歩千金の一步から名付けられました。

この会は昭和四十七年ごろ結成されました。昭和五十四年八月に初めての名人戦というタイトル戦の記録があります。現在会員数は二十九名で、対戦は毎月、第三日曜日に生涯学習センターで行っています。月例会は会員のみ参加となりますが、いつでも会員になれます。四月には春の市民将棋大会、十一月には秋の市民将棋大会を開催しています。この催しは、会員以外でも、常陸太田市民又は通勤通学者が参加できます。小学生も参加されています。八月はタイトル戦で、名人戦のほか、竜馬戦・天狗位戦の三クラスで順位を競います。

「へぼ将棋 王より飛車を



かわいがり』『目から火の出る王手飛車』など皆さんも聞いたことのあるフレーズがあると思います。そのように親しまれている将棋は、年配者の趣味だと思いませんか?約三十年前の羽生フィーバーそしていま十

代の藤井聡太二冠の活躍で全世代にわたりブームになっていきます。若い世代はネット将棋を楽しんでいるようですが、対面での指すのとモニター画面を通してするのは感覚が全く違います。



さんの参加をお待ちしています。なおコロナ禍により例会を中止することがあります。

※入会の連絡は後藤 029 4・76・1329



コラム



趣味に生きる

飯 嶋 武

一昨年までに学習センターの文学講座、社会教育委員、文団連会長を引退し、誘われるままに入った六つの趣味の会（短歌会・詩吟・野鳥の会・巨樹の会・ウォーキングクラブ・里山を歩く会）で、さあこれから大いに楽しもうと思っていた矢先、コロナ禍で全部が突然中止になってしまった。

趣味の会では、自分の好きなことをしている気のあつた仲間と楽しく語り合いながら、好きなことをする楽しさを共有して更に大きくしている。六つの趣味の会に参加していれば、その喜び・楽しみが六倍になるはずだったところ、それが全部中止となり、一時は意気消沈し、毎日の生活にもすっかり活気がなくなってしまう。

そんな時一人でも出来る趣味である読書があることを思い出した。以前「楽しく明るく元気よく生きるための知恵」と言う演題で講演した時、『病気の九割は歩くだけで治る―医者に払う金があるならウォーキングシューズを買え』『老けない人はこれを食べる』『親切は驚くほど体にいい』『まじめをやめれば病気になる』『医者ですめる演歌療法』『笑いの治癒力』等々多くの本を読み、大切なところをパソコンに入力しレジュメを作った。読んで要点を纏め、それを人に話すと良く覚えられることを知っ

た。川柳の講演会の時も約三十冊読んで、夫婦・サラリーマン・婚活・高齢者等項目別の川柳を五十枚ほどのレジュメを作った。この講演は好評で六回も開催したので、日常の会話で川柳を使い、皆を笑わせられるようになった。

更に、毎日八千歩を目標に散歩（ウォーキングクラブや里山歩きの時には、二万五千歩位歩く）。散歩の時は、見通しの良い堤防で人の居ないのを確認し歌を唄い、詩吟をする。読書をする時は、クラシック音楽等をテープに録音してBGMとして使用する。このように読書と音楽の趣味を生かし、更に散歩を続け、コロナ禍の中でも楽しい活気のある毎日を取り戻すことが出来た。



常陸太田市文化団体連合会 加盟団体名簿

令和3年3月現在

部門	No.	団体名	部門	No.	団体名	部門	No.	団体名
美術	1	常陸太田市彩友会	舞踊・ダンス	32	フラダンス同好会	工芸・手芸	63	クラフト会
	2	常陸太田水墨画協会		33	太田フォークダンス会		64	パッチワークの会
	3	舞鶴水墨会		34	フラダンス・サークル		65	町田焼愛好会
	4	サタデー油絵クラブ		35	Space HAG		66	金砂郷洋裁サークル
	5	常陸太田市美術協会		36	ファイ・フラ・オ・アロハナ		67	ブルー・ビー
	6	里美書道会	芸能	37	天神林町天神ばやし保存会	趣味・健康	68	常陸太田市さつき盆栽会
	7	里美絵手紙会		38	常陸太田県北地ばやし保存会		69	常陸太田一歩会
	8	水府書道会		39	常陸太田民謡楽鵬会		70	常陸太田市囲碁連盟
	9	ときわ水墨画会		40	常陸太田市民謡協会		71	ひたち太田生物友の会
	10	里美陶芸クラブ		41	常陸太田磯部都々逸保存会		72	茶道・茶都美会
	11	アート萌サークル		42	常陸太田藤流吟道会		73	里美囲碁会
	12	実用書道の会		43	さとみ吟詠会		74	太田華道会
	13	たたら会		44	里美太鼓会		75	あじさい会
	14	常陸太田クラシックギター愛好会		45	里美華翠連		76	コスモスいけばな
	15	常陸太田市音楽協会		46	茨城楽冬会水府支部		77	里美盆栽会
	16	箏栄会		47	常陸太田市太鼓連盟		78	太極拳やまぶきの会
音楽	17	金砂郷ふるさと合唱団		48	都々逸教室		79	常陸太田ウォーキングクラブ
	18	大正琴教室微風		49	さたけ太鼓の会		80	サークル花水木
	19	里美カラオケ連合会		50	葵の会		81	日本盆栽協会常陸太田支部
	20	女声合唱団 Seeds	歴史・文学	51	常陸太田短歌会		82	いけばなサークル森田社中
	21	ハンドベルサークル アフェット		52	常陸太田まちかど案内人の会		83	いけばな川上
	22	水府オールスターズ		53	常陸太田古文書に親しむ会		84	常陸太田市茶道連合会
	23	常陸太田歌謡研究会		54	ふる里の祖歴を学ぶ会		85	常陸太田山草会
	24	太田ハーモニカ教室		55	金砂郷おもすびの会		86	すいふ友遊クラブ
	25	アンサンブルかわせみ		56	金砂太田楽研究会		87	西山パソコン04サークル
	26	オカリナ カワセミ		57	常陸太田の黄門様検定会		88	西山パソコン愛好会
	27	大正琴「あすか」		58	大門城址と自然を守る会		89	花サークル Ivy
	28	五月会		59	漢語愛好会		90	中城町女性の会 花水木
舞踊・ダンス	29	優柳会	映画・演劇	60	常陸太田ビデオ研究会		91	フラワーアレンジメントの会
	30	いずみ舞踊会		61	水府よい映画をみる会		92	ワハハほんぼ太田
	31	やまぶきフォークダンス会	工芸・手芸	62	常陸太田市パッチワークキルト・フープの会		93	やまぶき43

編集後記

新型コロナウイルスの感染が国内で確認されてから、およそ1年が経過しました。その影響により、オリンピックをはじめ、国内でも多くの催しが延期・中止を余儀なくされるなか、地域の文化活動も思うような活動ができない状況にあります。

文化団体連合会でも、各団体で事業が中止や延期となるなか、日頃の活動での感染症対策の難しさなどから、活動の縮小や解散により、文化団体連合会を退会された団体も多くありました。

コロナ禍において、文化活動は厳しい局面に立たされています。感染症対策が最優先なのはもちろんですが、生きがいや、心の豊かさをもつために文化活動は必要不可欠なものです。今後少しでも状況が改善され、皆様が安心して活動を行えるようになることを心より願っております。

このような大変な状況下で『ひたちおおたの文化第23号』を無事に発行できたのは、ひとえにご協力いただいた皆様のおかげです。ありがとうございました。本年度も会員以外の方に当会の活動を知っていただきたいと思い、この機関誌を全地区回覧とさせていただきます。興味のある団体がありましたら、ぜひ事務局までお問い合わせください。

最後になりましたが、皆様の益々のご活躍とご多幸、そして新型コロナウイルスの収束をお祈り申し上げます。

【常陸太田市文化団体連合会事務局】

常陸太田市教育委員会文化課文化振興係
〒313-0055常陸太田市西二町2200番地
TEL 72-3201 FAX 72-3310